

第53回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミ	チーム名	桃山学院株式会社
タイトル	天候が及ぼす企業や人々の経済行動への影響		
テーマ群	e) 産業・企業 g) その他		
メンバー	土屋友希、澤浦誉紀、岡本匠人		
研究計画内容	<p>【研究背景】 私はドラッグストアで働く中で、天候の変化がお客さんの購買行動に影響を与えていることに気付きました。雨が降る日には傘や防水用品の売上が増加し、晴れた日には日焼け止めや涼を求める商品の売り上げが増加した。このパターンは他のドラッグストアや企業でも同じことが言えると考えました。また、農業など他の業界でも天候の変化が消費者の選択に影響を及ぼしているだけでなく生産者側の選択にも影響を及ぼしていると考えました。消費者や生産者の行動変化には気象条件だけでなく、季節や地域の文化的要因も関与しているかもしれません。この疑問に答えるために、天候の変化が人々の行動に及ぼす影響を包括的に研究しようと考えました。</p> <p>【研究内容】 気象情報と家計の消費傾向との相関関係を調査し数値化する。 人と企業はどのような影響を受け、それに対しどのような行動をとっているか調査する。 また、天候、災害などの影響を受けにくい企業、地域及び業界とその理由を明らかにする。</p> <p>【期待される効果】 天候パターンと消費行動の相関関係を分析することで、需要の変動や消費者の購買意欲に関して理解し、市場動向を理解する手助けとなる。</p> <p>【参考文献】 「都民のくらしむき」 https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/seikei/2015/sb15820000.htm 国土交通省「気象庁」 https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html 帝国データバンク「天候不順が企業に与える影響調査」 https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p170902.html</p>		